

陸上競技部

Vol.1

2020.4.30

実業団ハーフマラソン びわ湖毎日マラソン

広報誌
特別企画

躍進

○

[特別インタビュー]

ジェームス・ギタヒ・ルンガル

坂田 昌駿 (技術管理部)

吉岡 幸輝 (品質保証部)

監督 亀鷹 律良

取材・文 ● 堀正人 (総務室)

実業団ハーフマラソン

1時間00分27秒

優勝

PROFILE

ジェームス・ギタヒ・ルンガル
1993年1月13生まれ。ケニア出身。

178cm/61kg

5000m 13'27"71

10000m 27'22"53

■主な戦績

- 2015年 ニースハーフマラソン 優勝
- 2015年 岐阜清流ハーフマラソン 優勝
- 2016年 中部選手権10000m 優勝
- 2016年 アフリカクロカン 優勝
- 2018年 ハーグハーフマラソン 優勝
- 2019年 ニューイヤー駅伝2区 8位

JAMES GITAHIRUNGARU

ジェームス・ギタヒ・ルンガル

中央発條の為に 競技を続けていきたい

「実業団ハーフマラソンでは見事な走りで見事な優勝。どのような気持ちでレースに臨んだのでしょうか？」
「監督から、今回の大会で優勝しなければ次の契約はないと言われていました。中央発條に残りたい、中央発條の為に走りたいと思って練習し、レースに臨みました。それが、優勝に繋がりました」

「今は新型コロナの影響で日本に戻ってこれない状況ですが、今後のレースに向けての意気込みをお願いします？」

「今は新型コロナの影響で祖国のケニアにいますが、今後も中央発條の為に競技を続けていきたい。チームに貢献したい。日本の皆さんも新型コロナの影響で大変だと思います。が負けずに頑張りましょう。私は皆さんの期待に応えるための準備をしていきます。皆さまからの『がんばれ』の声がどんなに苦しくても、僕らを1歩前に進めてくれます。これからも応援お願いします」

優勝トロフィーと盾を手にするルンガル選手



坂田昌駿

Masatoshi
SAKATA

実業団ハーフマラソン

自己記録更新

1時間02分10秒

旧記録1時間04分39秒

順位 49位

びわ湖毎日マラソン

初マラソン

2時間12分36秒

順位 18位



PROFILE

坂田昌駿(さかたまさとし)
1994年8月17日生まれ。三重県出身。
伊賀白鳳高校-法政大学。
尊敬する選手：高橋尚子
好きな言葉：無我夢中
趣味：ドライブ

■主な戦績

- 2016年 箱根駅伝7区 16位
- 2017年 箱根駅伝3区 11位
- 2017年 中部実業団対抗駅伝 1区 5位
- 2018年 ニューイヤースタート 1区 35位
- 2019年 ニューイヤースタート 3区 35位
- 2020年 ニューイヤースタート 1区 15位

主将

「練習の継続が
スタミナを上げ
勝負勘を養い
結果に繋がった」

「実業団ハーフマラソンでは自己記録を2分以上更新する大幅な自己記録更新、びわ湖マラソンでは初マラソンながら2時間12分台での快走でしたが要因はどのように考えていますか？」
「今までやってこなかった40キロ走や実践練習を吉岡君と切磋琢磨しながらやってきました。その練習の継続がスタミナを上げ、勝負勘を養い、今回の結果へと繋がったと思います」

「今後のレースの目標とそれに向けた取り組みを教えてください頂けますか？」

「日本選手権1000mの出場資格であるA標準記録(28分20秒)突破を目指しています。その目標に向け、今はスタミナを付ける練習を重点的に取り組んでいます」
「意気込みをお願いします」

「日本選手権に出場し、国内最高峰の大会で戦える準備をしていきます」



最年長としてチームを牽引する坂田選手(左)と成長著しい小川選手(右)

「もっと高いところを目指したい。もっと強い選手と勝負していきたい。これから応援よろしくお願ひします」



中央発條記録更新

「次は2時間7分台を
目指したい」

吉岡 Koki 幸輝 YOSHIOKA

PROFILE

吉岡幸輝(よしおかこうき)
1997年1月6日生まれ。佐賀県出身。
白石高校-順天堂大学。
尊敬する選手：塩尻和也
好きな言葉：継続は力なり
趣味：Youtube鑑賞

■主な戦績

2019年 箱根駅伝9区 15位
2020年 ニューイヤー駅伝 4区 22位

入社1年目ながらハーフマラソンとフルマラソンで中発記録を更新。その要因は？

大学の頃から長距離の適正はあっていたので、ハーフマラソンやフルマラソンでは力を発揮できると思っていました。

中央発條に入ってから、実戦に近い練習が多く、継続して行えたことがスピードや持久力の向上に繋がり、今回の結果に表れたのだと思います。

今後のレースに向けた意気込みをお願いします。

今まで出場できなかったレベルの高い試合も出場できるので、積極的に出場して経験値を増やしていきたいと思っています。

個人レース、駅伝の両方で活躍できる選手になっていきたいです。これからも応援よろしくをお願いします。

次のマラソンでの目標は？

次はフルマラソンで2時間7分台を目指したいです。2時間7分台を出すためにトレーニングの質を上げていきたい。そのトレーニングを繰り返し繰り返し行い、継続して積み重ねることができれば目標を掴み取れると思っています。

中央発條記録更新 実業団ハーフマラソン

1時間01分42秒

(旧中発記録1時間02分37秒)

順位 24位

中央発條記録更新 びわ湖毎日マラソン

2時間10分13秒(初マラソン)

(旧中発記録2時間16分36秒)

順位 10位

PROFILE

亀鷹律良(かめたかただよし)
1962年3月3日生まれ
出身：岡山県
尊敬する人：瀬戸内寂聴
好きな言葉：一隅を照らす
趣味：散歩

■選手歴

1980年 旭化成 陸上部ニュー
イヤ－駅伝：区間
賞・優勝)

■指導歴

1991年 芙蓉 陸上部 監督
1997年 トヨタ紡織 陸上部
監督 (ニューイヤ－
駅伝：5位入賞を2
回、7位入賞を3回)
2012年 NTN 陸上部 監督
(ニューイヤ－駅伝：
NTN38年ぶりの8位入
賞)

2016年 NTN 陸上部 顧問

2018年中央発條陸競部監督就任



亀鷹 律良

Tadayoshi
KAMETAKA

監督

「さらに高い目標に向かって選手たちは頑張ってくれと確信しています」

12月9日に行われた実業団ハーフマラソンと3月8日に行われたびわ湖毎日マラソンでは、共に中発記録を更新しました。おめでとございます。

「まず、レースに出場するにあたり、従業員の皆様からの熱い声援や職場の温かいサポートありがとうございます。それがあっての結果だと思っています」

「実業団ハーフマラソンでは主将の坂田選手、1年目(当時)の吉岡選手が共に大幅な自己記録更新。びわ湖マラソンでは共に初マラソンながら、上位の成績を残しました。選手に対してどのようなノルマを課し、練習に取り組んでくれたのでしょうか？」

「従業員の皆さんに夢と希望を与えられるかを普段から選手に言い聞かせてきました。またそんな選手になれる様に高いノルマを課してきましたが、決して達成できないものではない事を選手達が自ら証明してくれました」

「実業団ハーフマラソンではルンガル選手が中央発條で初となる優勝という最高の結果で答えを出してくれ

ました。が、どのような目標を課していたのでしょうか？」

「優勝です。彼には中央発條で陸上を続けたいのであれば優勝しかないと伝えていました。そういったプレッシャーの中で気持ちの入ったレースをしてくれ、しっかりと回答をしてくれました。今は新型コロナウイルスの影響でケニアに居ますが、駅伝の戦力として期待しています」

「最後に一言お願いします。今回の3人の結果は中央発條が強豪として復活するため、の起爆剤になったと思います。こういった選手が増え、従業員やご家族の皆さんをワクワクさせるチームにしていきたい。引き続き、熱いご声援よろしくお願いします」



選手とは普段から積極的にコミュニケーションを図る。監督の哲学は日を追うごとに浸透してきている。